

みなべ町の動脈硬化健診に参加なさった方へ

和歌山県立医科大学保健看護学部・医学部では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご説明するのは、2011年から2018年にみなべ町で実施された動脈硬化健診を受診された方の遺伝子情報や健診情報を利用して経時的な変化を含めて解析を行う疫学研究です。2018年より、弘前大学COI「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」と共同研究を開始していますので、個人情報情報を削除した情報について弘前大学COIの研究グループと共有させていただきたいと思っております。この研究は、和歌山県立医科大学の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させていただく研究ですので、新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の健診の情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

和歌山県在住地域住民の生活習慣病発症に関わる遺伝・環境要因に関する研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

3. 研究の目的

この研究は、生活習慣病の発症に関わる遺伝子多型およびライフスタイルを明らかにし、病気の予防や早期治療に結びつけようとするものです。提供していただく血液試料や健診データは、遺伝子情報、生活習慣・社会的活動度などの情報と、健診での血液尿検査、動脈硬化指標、認知機能の指標など、およびそれらの指標の経時的な変化との関係を調べるために利用させていただきたいと思っております。

4. 研究の概要

(1) 研究の対象となる方

みなべ町の動脈硬化健診を、平成23年(2011年)7月から平成30年(2018年)8月までの期間中に受診された方

(2) 利用させていただく情報

この研究で利用させて頂く検体とデータは、遺伝子解析のための血液試料、血液・尿検査、動脈硬化指標、認知機能指標など、健診における測定データです。

(3) 研究方法

遺伝子情報については、血液試料よりDNAを抽出し、様々な箇所の遺伝子の個人的な違い(多型と言います)を調べます。その結果、および健診で測定した結果などの情報と、生活習慣・社会的活動度などのアンケートでの情報との関係を、統計学的解析によって調べます。青森県の弘前大学、京都府の京都府立医科大学、沖縄県の名桜大学などの共同研究機関で実施している健診の情報と合わせて解析させていただくことがあります。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

このような疫学研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、あなたには、ご自身の健診の情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、令和3年（2021年）12月31日までに下記にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

弘前大学 COI「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」

8. 問い合わせ先

和歌山市三葛 580

和歌山県立医科大学保健看護学部 教授 宮井信行

(TEL) 073-446-6700 (FAX) 073-446-6720

E-mail : miyain@wakayama-med.ac.jp